

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月27日

上場会社名 オリエンタル酵母工業株式会社
 コード番号 2891 URL <http://www.ovc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 中村 隆司

(氏名) 佐藤 彰

TEL 03-3968-1125

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	47,654	△1.2	2,044	93.8	2,203	76.0	1,428	125.0
21年3月期第3四半期	48,257	—	1,054	—	1,252	—	635	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	43.69	—
21年3月期第3四半期	19.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	46,335	26,624	56.8	804.62
21年3月期	41,360	25,628	61.2	773.94

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 26,304百万円 21年3月期 25,311百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
22年3月期	—	6.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	△1.6	2,200	43.0	2,350	33.6	1,450	74.3	44.34

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	33,171,087株	21年3月期	33,171,087株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	479,286株	21年3月期	466,884株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	32,700,630株	21年3月期第3四半期	32,759,294株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営状態に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済情勢は、一部には景気が底を打ったとの見方も出ておりますが、消費者の節約志向やデフレの影響を受け、依然として消費動向は回復の兆しが見えにくい状況が続いております。

食品部門は消費低迷やデフレ傾向により、市場環境が厳しい状況にあります。この状況の中、高付加価値製品の上市、新規顧客獲得等の販売努力及び原材料を含むコスト低減を推進しました。

バイオ部門においては大手製薬企業の再編や研究部門の海外へのシフトによる需要減退傾向が収まりつつあります。バイオ事業は製薬企業等顧客の研究・開発サポートを提案する「創薬支援事業」と位置付け、顧客のニーズを掘り起こし、受注増加を目指しました。加えて遺伝子組換え技術を用いた新製品の上市及び生産性の向上、コスト低減の推進及び固定費削減を積極的に行いました。また、昨年10月に養魚飼料事業を日清丸紅飼料(株)へ譲渡し、その経営資源を動物実験関連ビジネスに集中し、受託飼料等の売上増を図りました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は476億54百万円となりましたが、固定費削減や原材料コストの安定により、経常利益は22億3百万円、四半期純利益は14億28百万円となりました。

部門別の業績は以下のとおりであります。

(食品部門)

イースト、パン品質改良剤、発酵液等の新製品提案を行うことにより、イースト、パン品質改良剤の出荷が前年を上回りました。また、粉末かんすい、マヨネーズ等の出荷も順調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は363億70百万円、営業利益は15億80百万円となりました。

(バイオ部門)

診断薬原料、受託飼料、器材等の出荷増があったものの、養魚飼料事業の譲渡による売上減、血清・培地、動物実験関連の売上が低調でした。

その結果、第3四半期連結累計期間の売上高は112億83百万円、営業利益は4億63百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりであります。

流動資産は271億30百万円で主に当会計期間末が銀行休業日であった影響による現金・預金と売掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ49億57百万円増加しました。固定資産は192億4百万円で前連結会計年度末に比べ18百万円増加しました。この結果、総資産は463億35百万円で前連結会計年度末に比べ49億75百万円増加しました。また、流動負債は153億36百万円で当会計期間末が銀行休業日であった影響による買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ39億47百万円増加しました。固定負債は43億74百万円で前

連結会計年度末に比べ31百万円増加しました。この結果、負債は合計197億11百万円で前連結会計年度末に比べ39億79百万円増加しました。純資産は、第3四半期純利益による増加と配当金の支払等により、前連結会計年度末に比べ9億96百万円増加し266億24百万円となりました。

次に、当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、48億11百万円の増加となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が24億63百万円、減価償却費が15億76百万円及び当会計期間末が銀行休業日であった影響による売上債権、仕入債務の増加等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、22億90百万円の減少となりました。これは、定期預金の預入れと払戻しの差による減少が15億20百万円、設備資金の支出11億75百万円と養魚飼料事業の譲渡による収入5億55百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億38百万円の減少となりました。これは、配当金の支払4億57百万円等によるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の第3四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ19億83百万円増加し、70億24百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(食品部門)

国内食品市場は今後も消費低迷が続く様相を呈しており、依然として厳しい環境下で推移すると思われれます。

このような状況の中、積極的な提案型営業を推進し、高付加価値製品の開発や上市に注力するとともに、製パン関連業界以外の新たな市場開拓を推し進め、売上の底上げを目指します。

また、生産面においては、引き続き品質保証体制の強化を徹底し、「安全・安心」な製品作りに努めてまいります。

(バイオ部門)

バイオ事業を「創薬支援事業」と位置付け、一貫した研究・開発支援サービスを積極的に展開したことにより、主要得意先である製薬企業からの受注が回復基調になりつつあります。引き続き診断薬原料を中心に、遺伝子組換え技術を用いた新製品の上市や、アレルギー検査・残留農薬等の食品分析事業の拡大を推進してまいります。また、海外事業においてはBRICs諸国への拡販を海外子会社を活用して進めてまいります。

連結業績予想につきましては平成21年10月29日に発表しました「平成22年3月期第2四半期累計期間業績予想値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、第1四半期連結会計期間に連結子会社エスケーフーズ(株)(株)OYC フーズネットに商号変更)が連結子会社(株)パニーフーズネットを吸収合併したため、また、当第2四半期連結会計期間に連結子会社東酵(上海)商貿有限公司の出資金の一部譲渡に伴い持分比率が減少したことにより連結の範囲から除外したため、前連結会計年度に比べ連結子会社数が2社減少しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続き、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,154	3,651
受取手形及び売掛金	12,806	11,952
有価証券	3,000	1,999
たな卸資産	4,732	4,191
その他	469	408
貸倒引当金	△31	△30
流動資産合計	27,130	22,173
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,931	6,990
その他(純額)	7,238	7,277
有形固定資産合計	14,170	14,267
無形固定資産	373	402
投資その他の資産		
投資有価証券	3,233	3,112
その他	1,465	1,440
貸倒引当金	△37	△36
投資その他の資産合計	4,661	4,516
固定資産合計	19,204	19,186
資産合計	46,335	41,360
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,384	7,362
短期借入金	20	70
未払法人税等	666	360
役員賞与引当金	33	34
その他	4,231	3,560
流動負債合計	15,336	11,388
固定負債		
退職給付引当金	3,280	3,204
役員退職慰労引当金	285	272
その他	809	865
固定負債合計	4,374	4,343
負債合計	19,711	15,731

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,617	2,617
資本剰余金	1,886	1,886
利益剰余金	21,796	20,826
自己株式	△294	△289
株主資本合計	26,006	25,041
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	330	305
為替換算調整勘定	△31	△35
評価・換算差額等合計	298	269
少数株主持分	320	317
純資産合計	26,624	25,628
負債純資産合計	46,335	41,360

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	48,257	47,654
売上原価	38,035	36,485
売上総利益	10,222	11,169
販売費及び一般管理費	9,167	9,124
営業利益	1,054	2,044
営業外収益		
受取利息	16	9
受取配当金	25	19
持分法による投資利益	81	95
その他	95	69
営業外収益合計	218	194
営業外費用		
支払利息	6	3
為替差損	—	24
貸倒引当金繰入額	5	—
その他	9	7
営業外費用合計	20	35
経常利益	1,252	2,203
特別利益		
投資有価証券売却益	—	11
事業譲渡益	—	400
出資金売却益	—	7
特別利益合計	—	418
特別損失		
固定資産除却損	50	75
投資有価証券評価損	6	—
役員退職慰労金	20	18
厚生年金基金脱退損	—	54
その他	—	10
特別損失合計	77	158
税金等調整前四半期純利益	1,174	2,463
法人税等	509	1,021
少数株主利益	29	13
四半期純利益	635	1,428

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,174	2,463
減価償却費	1,633	1,576
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20	1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	19	75
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△27	12
受取利息及び受取配当金	△41	△29
支払利息	6	3
持分法による投資損益 (△は益)	△81	△95
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△11
事業譲渡損益 (△は益)	—	△400
有形固定資産除却損	46	75
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,231	△1,054
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△911	△619
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,885	3,623
未払消費税等の増減額 (△は減少)	38	17
その他	△155	△121
小計	4,374	5,518
利息及び配当金の受取額	53	48
利息の支払額	△6	△2
法人税等の支払額	△520	△753
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,900	4,811
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100	△2,120
定期預金の払戻による収入	100	600
有形固定資産の取得による支出	△1,172	△1,175
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△73	△101
投資有価証券の取得による支出	△5	△108
投資有価証券の売却による収入	3	122
連結の範囲の変更に伴う出資金の売却による収入	—	8
出資金の払込による支出	—	△64
その他の投資等の増加による支出	△12	△17
その他の投資等の減少による収入	21	14
事業譲渡による収入	—	555
その他	△10	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,250	△2,290

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50	△50
長期借入金の返済による支出	△601	—
配当金の支払額	△393	△457
自己株式の売却による収入	9	0
自己株式の取得による支出	△72	△5
少数株主への配当金の支払額	△22	△16
その他	△2	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,133	△538
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,500	1,983
現金及び現金同等物の期首残高	4,868	5,041
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	66	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,435	7,024

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) (単位：百万円)

	食品部門	バイオ部門	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	36,225	12,031	48,257	—	48,257
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	63	12	75	(75)	—
計	36,288	12,044	48,333	(75)	48,257
営業利益	660	394	1,054	—	1,054

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) (単位：百万円)

	食品部門	バイオ部門	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	36,370	11,283	47,654	—	47,654
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	33	12	45	(45)	—
計	36,404	11,295	47,699	(45)	47,654
営業利益	1,580	463	2,044	—	2,044

(注) 1. 事業区分の方法

当社企業集団の事業区分は、製品の種類及び販売市場に応じて、食品部門、バイオ部門にセグメンテーションしております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主 要 製 品
食 品 部 門	イースト、ドライイースト、フラワーペースト、油脂加工品（バタークリーム）、マヨネーズ・ドレッシング、粉末かんすい、総菜（調理フィリング）、ベーキングパウダー、パン品質改良剤、パン種、発酵風味液、酵母機能利用製品、健康補助食品
バ イ オ 部 門	生化学製品・免疫製品、バイオニュートリショナル製品（酵母エキス・組織培養用培地）、ラボラトリーアニマルサイエンス（各種受託業務・実験動物用飼料・実験動物）、養魚用飼料、ペットフード、つり餌

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間における剰余金の配当は、以下のとおりです。なお、この他に該当事項はありません。

(配当金支払額)

決議	株式の種類	配当金の 総額	配当金の原資	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
平成21年6月26日 定時株主総会	普通株式	261百万円	利益剰余金	8円	平成21年3月31日	平成21年6月29日
平成21年10月29日 取締役会	普通株式	196百万円	利益剰余金	6円	平成21年9月30日	平成21年12月8日